



たもんじ交流農園 2019年10月号 便り Vol.19

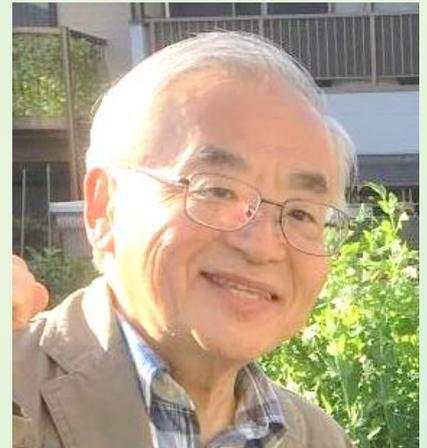
「たもんじ交流農園便り」は、農園であったいろんなこと、これから予定しているイベントや講演会、農園仲間の人となり等、たもんじ交流農園に関する様々な情報を、会員の皆様にお伝えする情報誌です。

たもんじ交流農園事業は、2019年度すみだの夢応援助成事業に決定致しました。



うちの畑じまん 第12回 ちーむ小川 小川剛さん

「ちーむ小川」の農園は、昨年10月末にお借りして、約1年経ちました。野菜もたくさん採れました。スナップエンドウ、さやえんどう、シソ、キュウリ、ミニトマト、ルッコラ、こかぶ、そして、何ととっても、「寺島なす」は、大収穫でした。夏場は、毎日毎日、野菜ばかり食べていました。寺島なすは、醤油で煮たり、豚肉と一緒にみそ炒めにしましたが、あとは、ほとんど茹でるだけとか、生でバリバリいただきました。スナップエンドウ、キュウリ、トマトは、今年もやりたい！反省点は、間引き、枝切りが不十分で、ジャングル畑になってしまったことです。今年は、心を鬼にして、間引きに精をだしたいと思います！



ちーむ小川のメンバーは、前半は、町田さん、後半は、中西さんに頑張っていたいただきました。ありがとうございました。これから、新たなメンバーもどんどん増やして、野菜もしっかり育てます。私にとっては、夏は、大汗かいての農作業、そして、野菜尽くしの家庭食で、すっかり健康体に回復したことが、なによりの自慢です。



キュウリ、人参、寺島なす

さやえんどうとスナップエンドウ

ジャングル畑

町田さん

中西さん

新・農園のお隣さんご紹介

① 自己紹介、②育ててみたい野菜、③希望するイベントや講演会、④農園にかける想い等

区画 1-2-①

当(あたり)英和さん、神屋里佳子さん(友人)



① 長年機械製作一筋に生きてまいりましたが、少し生活パターンを変えたい思っていたところ、富澤さん(区画4-1)の紹介でたもんじ交流農園を知り、子供時代徳之島で過ごした砂糖きび畑を思い出し、参加する事にしました。畑については何も知りませんが、宜しくお願いします。

② 江戸野菜、トマト ③(特になし)

④ 田舎の方言で自宅用の小さな畑を“あたり↓”と申します(イントネーションは尻下がり)。朝食時“あたり”で採ってきた野菜を、味噌汁にひたして食べた思い出がよみがえります。



てらたま協議会より 今年も 江戸に浸かる。にどっぷり浸かって 前編

※みなさまのFBから、ご了解を頂いた上で掲載しております。



晴れ渡った9月28～29日(土日)、すみゆめプロジェクト企画『江戸に浸かる。～咲く・跳ねる・感じる～笑みに夢。』大盛況のなか終わることが出来ました。2日間の来場者は約3000人。思い返すと、江戸に浸かる1回目の年に掲げた目標が来場者3000人でした。イベントのことなど何も知らない、怖いもの知らずのわたしの無謀な目標が、今年4年目にして達成出来たことは、地域にじんわり浸透して楽しみにしてくださる方が増えたこと。そして何よりも、「江戸に浸かる創り」に関わる方が増えたことです。

今年の江戸浸かメンバーは、てらたま協議会メンバーをはじめ、地域内外の多職種で多才な人たち、毎回のミーティングは、やりたい事、アイデアの宝庫で、ハチャメチャなことでも何でもあり、それを捨てみんなで広げていく。不可能と思われることでも最初からダメと言わない。最善を尽くす。「江戸に浸かる」を通して地域に交流の輪が生まれました。江戸浸かメンバーのでも交流の輪が広がり、また新たな場所で何かが生まれつつあります。そうやって人も地域も元気になるのです。

中学生、高校生、大学生のパワーも凄かった！！皆んな未来のリーダー、アーティスト達です。日本の未来は明るいのだ！！「江戸に浸かる」でみんなの笑いや笑顔の華が咲き。「江戸に浸かる」でみんなの心や体が飛び跳ねた。

多くの方から「手作り感とゆるさとあたたかさがあって居心地がいい」と言って頂きました。「江戸に浸かる」は、これからも関わる人も参加する人も楽しく、優しく、あたたかく、軽く、型にはまらず、ちょっとだけ真面目にをモットーに、来年も開催できたらいいなと思います。江戸つかメンバーの皆さま、遊びに来てくださった皆さま、本当にありがとうございました！そして、お疲れさまでした！（中西てい子記）



江戸に浸かる。28日、29日の2日間、無事に終わることが出来ました。延べ人数約3000名の皆様にご来場いただき、本当にありがとうございました。

会場設定、屋台出店、ワークショップ、アトラクションに、青果リレーなどなど、数え切れない沢山の皆さまにご協力、ご支援頂き、心から感謝です。子供さんからお年寄りまで様々な方々、そして、人・団体・地域が、繋がりました。沢山の出会いもありました。何よりも、皆さんの笑顔が嬉しかったです。元気づけられました。是非とも、来年もやりたいです。本当に、本当に、ありがとうございました。（小川剛記）



江戸に浸かる、無事終了いたしました！今年もオレンジのイスたちが出張し、多くの方に座っていただきました。28日の青果リレーでは、うめわか地区のデイサービスや小規模多機能型施設などが参加、シルバーカーや車いすの方もランナーとして、寺島なすをつなぎました。最終ランナーのサンバ隊は、デイサービスよのもりさん、向島の家さんに立ち寄り、盛り上げていただきました。29日のうめわか茶屋では、中学生ボランティアと高齢者ボランティアがコラボ、東京コーヒーさんのご協力で美味しいコーヒーを



お出ししました。割れないシャボン玉とバンダナスタンプでは、ボランティアさんのご協力により、多くの親子連れの方が来てくださいました。笑顔にあふれた2日間、地域の皆様に、チームうめわか、イスからつながるプロジェクトを知っていただくことができました！たくさんの方々のご協力に感謝です！（チームうめわか記）



江戸に浸かる。2日間無事終わりました。今年は舞台進行係に徹するつもりが、なぜかやっぱり影絵も全力投球。イベント主催の中西てい子さんが、初年度に企画上演した葛飾北斎の影絵。人様が作った影絵を再編し、音も台詞も録音、映像完パケを作り、少人数でも上演可能にしました。人形もちろん作り直して、初めて影絵やる人でも使いやすい、でもちゃんと動く人形にしました。いつもと違うメンバー。いつもと違うやり方。どうなる事かと思ってたけど、何とかなるもんですな。イベント全体の事で走り回り、脳みそ破裂寸前の中で、影絵も演じた中西さんすごい！また、地元の中学生2人が人形を演じてくれて、その子達がすごく良い子達で、未来も捨てたもんじゃないとか、BBAは思うのでした。

イベント当日は途中まで子連れ。多喜くんは会場を駆け回り、あらゆるワークショップに参加し、あらゆる屋台で買い物し、ステージが一番前で鑑賞。彼こそ最も江戸に浸かった幼児かと。

舞台進行係としては反省多々あり。でーんと構えているはずが、結局1人駆けずり回って、時々私何やってんだろうと…それでも最後まで頑張れたのは、心強い裏方さん達と、私以上に駆けずり回っている、イベント主催の方々がいたからでした。支えてくれた関係者、遊びに来てくれたお客様、見守ってくれた家族、みんなにありがとう。でも来年は進行係か影絵、どちらか1つにさせてね(笑)。(さくらさん記)



28日は無事に青果リレーで台東区側から墨田区側へとバトンを繋いで渡すことが出来ました。試走で何度も訪れた白髭橋に今日は少年野球の子どもたちも数えきれないほど応援に来てくれていて、まあ、大人の真剣に遊ぶその後ろ姿を見届けてくれたのです！と少し行ったところで、交通安全の旗をたてた町会のテントがあったので、思い切ってそこにいた「大人」4人に旗振り役を頼んでみたところ「よっしゃ、貸して貸して」と率先して旗振り役を買って出してくれました。正直、同じ台東区であってもこれまで話かけたこともなかったところに、青果リレーという”大人の会話”が成立したところが、なんとも嬉しかったのです。

沿道の声援にくわえ、寺島なす、千住ねぎ、谷中しょうが、のそろい踏みで、惑星直列のように並んで走る姿が面白いのなんのって(笑)、その惑星間をこれまた愉快そうにスイング・バイする、自転車から、「坂部さん、ファイト！」などと声が飛んだもんだから、「(しょうがだけに)しょうがないなあ」と禁じ手を放ってしまい、余分なエネルギーを一気に消耗！それでも、一同、立ち直って定刻通り、桜橋の上で、なすのバトンが次へと渡されました。(後編に続く：点字物語「天の尺」代表坂部さん記、尚「天の尺」では11月10日(日)スカイツリーで行う天の尺体験イベント参加者募集中です。FB検索願います)。

新・農園のお隣さんご紹介

① 自己紹介、②育ててみたい野菜、③希望するイベントや講演会、④農園にかける想い等

区画 11-2

栗原典子さん 息子さん夫婦とお孫さんたち



- ① 生まれも育ちも向島、今まで離れた時がありません。家族は7人です。
- ② 寺島なす、枝豆、小松菜、トマト
- ③ 子どもと一緒に参加できるイベントなど
- ④ 野菜作りの知識は何もありませんが、子供や孫達と一緒に楽しみながらなんとか収穫まで体験できるといいなあと思っています。みなさま宜しくお願いします。



こちらは高木先生

今後のたもんじ交流農園スケジュール

ちょっと先までの計画は無いの?という声にお応えして久々の半年スケジュールです。

水口アドバイザーの来園日		11月17日(日)、12月15日(日) いずれも10時~4時の予定です。
11/4(月) 振替休日 11時~14時	秋の収穫祭 落花生を採る! 茹でる! 食べる! ~ピザに豆~ 落花生を採って、洗って、茹でて、食べちゃいます。小松菜など葉野菜も採れるかも。ピザ焼きかバーベキューかはたまたカレーか検討中。 参加費用: 小中学生 500円、大人 1000円(食べもの+ソフトドリンク(含ワイン)、但ビールのみ別料金)、農園会員様2名迄無料の予定。	
11~12月	子供たちの農作業体験~草取り・植ええ・収穫~ 食育の一環として、児童館や保育所の子ども達に、農園の草取りや植ええ、あるいは収穫を手伝ってもらおうという企画を考えています。	
12月	農園会員さんとの意見交換・交流会 農園会員さんとの親睦を深め、今後の農園運営のあり方を考える会を開きます。是非皆さんご参加下さい。	
1月	隅田川七福神巡り(街歩き) 恒例のまち歩き企画。多聞寺から隅田川沿いに南下し白鬚神社、百花園、長命寺、弘福寺、三囲神社まで歩きます。農園会員の皆様をご招待。	
3月	たもんじ交流農園第三期開園式&ピザ焼きパーティ 3年計画の最終3年目の完成式典。これまで以上にハデで豪華でハッピーなパーティにしたいですね! 皆様の参加をお待ちしています。	
4月以降	色々な地域団体とのコラボ交流イベント ~プロの農家で農作業体験や、大玉村地域おこし隊とのコラボ講演会「江戸東京野菜講座 中級編」 ~大竹先生や、江戸東京野菜普及団体の方をお招きしての勉強会 チャレンジ企画! 「千住一本ネギを植えよう!」 ~葱善さんのご指導のもと、千住ネギの栽培に挑戦! シリーズ「地産江戸東京野菜・寺島なすを皆で栽培しよう!」 第1回『苗』を植えよう!(5月)、第2回『追肥と剪定』をやってみよう!(6月)、第3回 寺島なすを『収穫』しよう!(7月) ~昨年の好評企画を今年度も実施予定です。苗を植えて、育てて、収穫するまでを、楽しみながら、体感するイベントです。	

尚、イベントは構想段階のものもあり、また作物の栽培状況等で変わる可能性があります。



たもんじ交流農園便り
No.19-般 2019.10.21 発行
題字 田村風来門
編集 末林和之

てらたま協議会 (NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)
<https://www.facebook.com/teratama/>
問い合わせ先 小川 剛 (080-3421-3115)
セブン-イレブン 記念財団

